

United World Colleges

ユナイテッド・ワールド・カレッジのご案内



Are you looking for
an education with a difference?
Then UWC is for you!

公益社団法人
ユナイテッド・ワールド・カレッジ日本協会

UWC 日本協会会長メッセージ



変化の激しい、将来を見通しにくい時代にあっては、一人ひとりが質の高い教育を通じて視野を拡げ、文化や社会の多様性を理解し、自ら考え、自らの意見を発信する力を身につけて、時代の変化に主体的に対応していくことが何よりも重要になってきています。UWCにおける国際バカロレア教育は、こうした時代の要請にまさに合致するものであると考えます。一人でも多くの日本の高校生の皆さんに、この素晴らしいUWCの教育を体験してほしいと願っています。

こうし あきよし
小路明善

UWC日本協会会長
(アサヒグループホールディングス会長)

(公社) UWC (ユナイテッド・ワールド・カレッジ) 日本協会とは

経団連の支援を得て設立されたUWC日本協会では、日本からUWCのカレッジに派遣される奨学生（高校生）の選考、奨学生に対する奨学金の支給、UWCプロジェクトの日本への紹介等の事業を行っております。奨学金は全て、UWCプロジェクトの趣旨に賛同する経団連会員企業54社ならびに個人による寄付金を原資とするものです。

UWC派遣奨学生への応募方法、UWCの概要等については、協会のウェブサイトをご参照ください。

留学を目指す皆さんへ



しまだ かずひろ
島田 和大さん

カナダ校
1993年卒業

London School of
Economics卒業
ZAIKO 最高経営責任者

私が一番強く感じる「UWCの本質的な価値」は、2年間の寮生活で苦楽を共にするからこそ築ける「国籍を超越した友人との絆とネットワーク」です。これは私にとって、何物にも代え難い真のプライスレスな財産となっています。ウクライナ戦争やガザ紛争など地政学的な変化が激しい現代において、UWCで真の国際理解を深め、グローバルシチズンとして見識を高めることの重要性は強調してもし過ぎることはないでしょう。また、UWCで受ける教育は、卒業後に世界を舞台にした、さまざまなオポチュニティを可能にしてくれます。ぜひ日本の多くの若者たちがUWCに挑戦してくれることを願っています。



みよし あさぎ
三好 あさぎさん

インド校
2003年卒業

京都大学卒業
外務省

慣れない英語での勉強、才能と個性溢れる友人達、インドという国のエネルギーを日々感じる環境……そこから学んだことは私の「軸」となっています。異なる環境に飛び出すことは勇気があるものだと思いますが、きっと何にも代え難い2年間が待っています。より多くの皆様に、UWCそして世界に関心を持っていただければと思っています。

UWCとは

UWC（ユナイテッド・ワールド・カレッジ、本部：ロンドン）は、世界各国から選抜された高校生を受け入れ、教育をとおして平和と持続可能な未来のために人々、国家、文化を結びつけることを目的とする民間教育機関です。現在までに、世界各国にカレッジ（高校）が開校され、日本から700名超が派遣されています。

カレッジにおける教育

UWCでのカリキュラムは、日本を含む多くの国で大学入学資格として認められている国際バカロレア（International Baccalaureate= 通称 IB）に則っています。

IBのプログラムは、主要科目（言語、社会科学、自然科学、数学、選択科目）のみならず、一般教養や卒業論文、社会奉仕活動など、学業だけに片寄らない、バランスのとれた学生を育成することを目的としています。IBのディプロマは、ジュネーブにあるIB本部に登録した学校で2年を修了し、IB試験で一定以上の得点をした者に与えられます。IBディプロマを得た者は、IB試験での得点を基準に大学入学資格が与えられるという仕組みになっており、現在、日本を含めて約140の国・地域の大学がIBディプロマを入学資格として認めています。

1

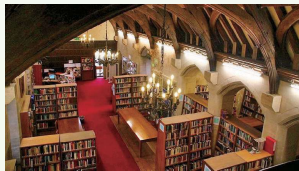
イギリス校

UWC Atlantic

創立：1962年

所在地：イギリス ウェールズ

プリストル海峡に臨む、14世紀の城を中心としたUWC最初のカレッジ。生徒による海難救助を含む、多彩な活動が行われている。



3

オランダ校

UWC Maastricht

創立：2009年

所在地：オランダ マーストリヒト

カレッジが街の中心に近いこともあり、学生が参加するコミュニティ・サービス活動は外部と関わる事が多い。カレッジ独自の行事も数々ある。



2

ノルウェー校

UWC Red Cross Nordic

創立：1995年

所在地：ノルウェー フレック

フィヨルドを臨む伝統的木造建築に最新の情報通信設備を備えたカレッジ。赤十字の協力により海難・山岳救助、応急手当措置などの訓練を受けるなど、社会福祉と環境教育を重視している。



4

ドイツ校

UWC Robert Bosch College

創立：2014年

所在地：ドイツ フライブルグ

美しい山並みに囲まれたカレッジ。ドイツ語の履修も可能。ドイツの企業家、ロバート・ボッシュ氏生誕150周年を記念して設立された。





※数字は 2010 年以降、日本協会から派遣実績、または派遣予定があるカレッジ

5

イタリア校

UWC Adriatic

創立：1982 年
所在地：イタリア トリエステ

アドリア海に面した、ラテン、ゲルマン、スラブ文化の接点であるドゥイノ村にある。授業は英語で行われるがイタリア語も必修であり、地域との交流も深い。



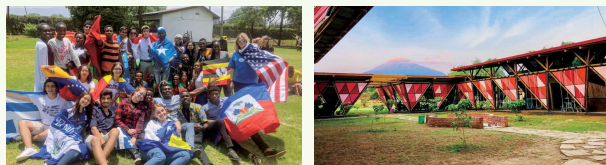
7

タンザニア校

UWC East Africa

創立：1969 年 (UWC 加盟は 2019 年)
所在地：タンザニア モシ/アルーシャ

周囲にはキリマンジャロ山や有名な国立公園が点在し、CAS や課外活動で雄大な自然を体感することができる。



6

アルメニア校

UWC Dilijan

創立：2014 年
所在地：アルメニア ディリジャン

世界最古のキリスト教国であるアルメニアに設立されたカレッジ。自然の美しいディリジャン国立公園内に位置している。



8

インド校

UWC Mahindra College

創立：1997 年
所在地：インド プーネ

インドの伝統をライフ・スタイルに取りこんだカレッジ。社会福祉活動は田園地域で行われる。



9

香港校

Li Po Chun UWC of Hong Kong

創立：1992年

所在地：中国 香港特別行政区

美しいトロ湾に面したカレッジ。中国語の学習が奨励され、社会奉仕活動は中国本土や東南アジアなどで行われる。



12

カナダ校

Pearson College UWC

創立：1974年

所在地：カナダ ビクトリア

バンクーバー島の南端にある、森と海に囲まれたカレッジ。元カナダ首相でノーベル平和賞受賞者ピアソン氏の意志を継承するべく設立された。



10

中国校

UWC Changshu China

創立：2015年

所在地：中国 江蘇州常熟市

3000年の歴史を持つ常熟市（上海より車で2時間）にあり、湖に隣接している。設備が充実したカレッジである。



13

アメリカ校

UWC-USA

創立：1982年

所在地：アメリカ ニューメキシコ

丘の上のモンテズマ城を仰ぐ広大なキャンパス。グランドキャニオンや原住民遺跡などへの校外学習も数多く行われる。



11

日本校

UWC ISAK Japan

創立：2014年（UWC加盟は2017年）

所在地：日本 軽井沢

浅間山の麓に位置し大自然に囲まれたカレッジ。「社会にポジティブな変革をもたらすチェンジメーカーの育成」を目指している。一条校のため、国内大学への選択肢も多い。



14

コスタリカ校

UWC Costa Rica

創立：2000年（UWC加盟は2006年）

所在地：コスタリカ サン・イシドロ・デ・エレディア

山と自然に囲まれたカレッジ。英語とスペイン語のバイリンガル・スクールで、児童養護施設での社会奉仕活動や、国立公園での活動などが行われる。



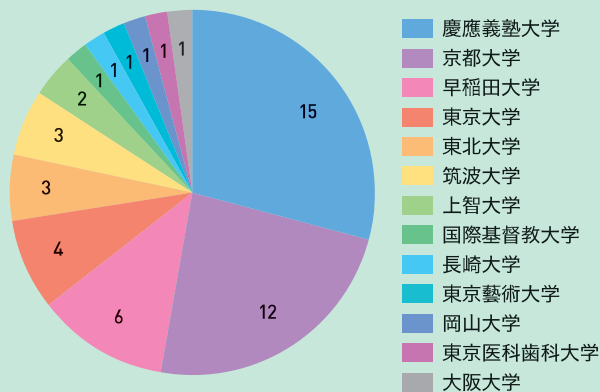
「人生の中で一番多く泣き、笑い、そして心動かされた2年間を忘れることは絶対にないだろう。」

卒業生の主な進学・就職先

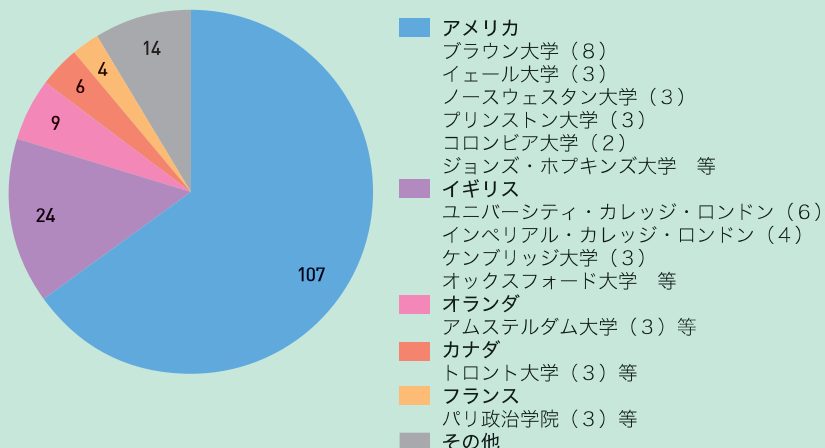
日本からの奨学生は、国内はもとより、海外の名だたる大学や大学院へ進学し、その後、様々な分野で活躍しています。

1. 進学について (2011～2024年度実績)

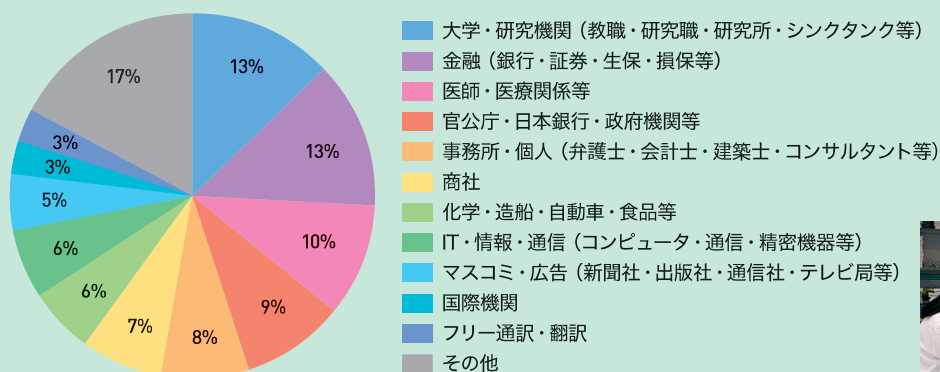
国内大学進学者数 (単位: 人、合計 51名)



海外大学進学先 (単位: 人、合計 164名)



2. 就職について (累計、%)



問い合わせ先

(公社)ユナイテッド・ワールド・カレッジ日本協会事務局 (経団連事務局内)

〒100-8188 東京都千代田区大手町 1-3-2

電話: 03-6741-0163 E-mail: uwc@keidanren.or.jp

ホームページ: <https://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/UWC/index.html>



関連リンク

UWC 日本卒業生会 <https://uwcjapanorg.com>

写真や卒業生の体験談を掲載

2025.6